

## 研修員が帯広市職員から母子保健を学ぶ アフリカなどからの研修員「ほんわかファミリー教室」を体験

開発途上国からの保健省職員ら12名のJICA研修員が、帯広市保健福祉センターを訪れ、帯広市の母子保健事業を学びます。

研修員たちは、自国の栄養改善の取組みを推進するため、日本式の母子保健・地域保健・栄養改善策について視察等を通して学び、自国にて母子栄養改善プログラムを計画・実行するために必要な知識と能力を強化することを目指し本研修に参加しています。

すでに東京で日本全体レベルでの政策等を学んでおり、帯広市保健福祉センターでは、市町村レベルでの施策の実行等を学びます。

「ほんわかファミリー教室」は、初めての出産を予定している夫婦を対象に、安心して出産を迎えることができるよう、出産や育児のことが学べる教室です。当日は、帯広市職員から教室の内容について説明を受け、「妊娠シミュレーター」を使った体験も行う予定です。

帯広市が実施する母子保健事業を知ることにより、開発途上国から来た研修員たちが、何に注目し、どう感じるのか、ぜひ取材にお越しく下さい。

### 記

1. 日 時：2019年11月28日(木) 10時30分～11時30分
2. 場 所：帯広市保健福祉センター（北海道帯広市東8条南13丁目）
3. 研修コース名：課題別研修「母子栄養改善」コース
4. 研修参加国：10カ国（計12名の研修員）  
（ガーナ、インドネシア(2名)、マダガスカル、マラウイ、モザンビーク、ミャンマー(2名)、ナイジェリア、シエラレオネ、東ティモール、ジンバブエ）
5. そ の 他：英語通訳者が同行いたしますので、研修員へのインタビューも可能です。

取材いただける場合は、事前に下記までご連絡いただきますよう、よろしくお願いたします。

#### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 北海道（帯広） 小野／高畑  
TEL：0155-35-1210 E-mail：Ono.Hisashi@jica.go.jp